

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	病態生理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	講義室
担 当 教 員	山本 哲也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>疾病や症状に関連する、血液、循環、消化吸収、炎症、感染などについて学ぶことで、生理学的な復習をしながら基礎知識を定着させる。病理学における病因と炎症について学習し、2年生での臨床医学に応用できる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
課題(20%)、期末試験(80%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
わかりやすい病理学 改訂第7版(南江堂)、配布資料など						
《授業外における学習方法》						
<p>解剖学や生理学の復習が病理学の予習になりますので、それらの自習に取り組んでください。 また期末試験前には配布資料や講義メモを丹念に見直して知識の定着を図ってください。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>解剖学や生理学などの基礎医学分野と臨床医学分野の間に位置するのが病理学です。 授業を通して各分野の関係性に気づき理解できるように主体的に学んでください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	病理学についての概要を説明できる		教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
	各コマにおける授業予定	病理学について、病因と病態				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	病因について説明できる		教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
	各コマにおける授業予定	内因と外因、主な内因、主な外因□				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	遺伝性疾患について概要を説明できる		教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
	各コマにおける授業予定	先天性異常の概要、遺伝性疾患の特徴				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	染色体異常について説明できる		教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
	各コマにおける授業予定	染色体の構造の異常、染色体の数の異常、先天性異常のまとめ				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	免疫の仕組みについて説明できる		教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
	各コマにおける授業予定	液性免疫と細胞性免疫				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	免疫異常について概要を説明できる	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	アレルギーの分類と特徴		
第7回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	免疫異常について概要を説明できる	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	免疫不全、自己免疫異常、免疫異常のまとめ		
第8回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	外因について概要を説明できる	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	供給障害、物理的病因		
第9回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	病因を分類・整理し各病因の特徴を説明できる	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	化学的病因、生物的病因、病因のまとめ		
第10回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	主な循環障害について概要を説明できる	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	循環器系の構造と機能、充血、うっ血		
第11回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	主な循環障害について概要を説明できる	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	貧血・虚血、出血		
第12回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	主な循環障害について概要を説明できる	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	血栓症、塞栓症、梗塞		
第13回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	主な循環障害について概要を説明できる	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	水腫・浮腫、脱水症、ショック、循環障害のまとめ		
第14回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	前期の学習内容について概要を説明できる。	教科書 配布資料 その他	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマに おける 授業予定	内因と外因、先天性異常、免疫異常、循環障害		
第15回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	講義内容を知識として、しっかりと定着させる。	教科書 配布資料 その他	1～14回の配布資料を確認し、重要項目について予習すること
		各コマに おける 授業予定	まとめ		